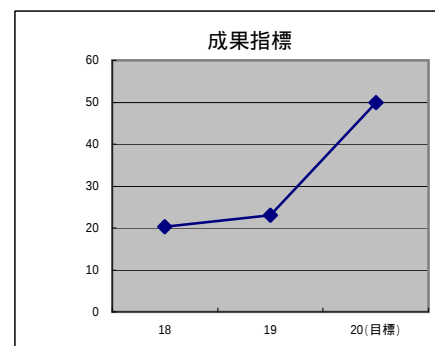
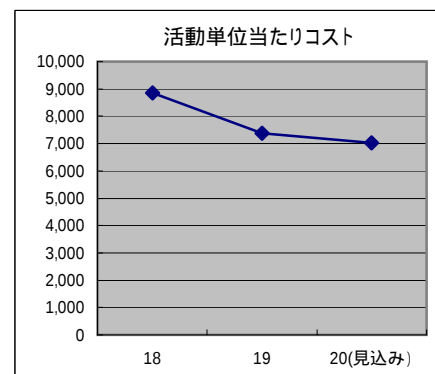


事務事業名		誕生記念植樹事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	3	公園費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	1	緑化推進	
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化		作成部署 土木部みどり公園課			
	施策の方向	(1)	緑地の保全と緑化の推進		連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2420		
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	市内在住である生後1年以内の新生児							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	記念植樹を行い子供の成長と樹木の生長を関連付け、緑に対する関心と意識の向上を図る。							
	峰塚公園において、11月に誕生記念植樹と集合ネームプレートの設置を行い同時に写真を送付する。なお、集合ネームプレートへの記名は、申請により受け付け基準日(10月1日)に市内在住の有無を確認した上で記載する。							
根拠法令等		誕生記念植樹実施要綱						
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 12 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度						
事業開始時からの状況変化		植樹場所の確保の問題や管理効率の関係で平成19年度より設置箇所をこれまでの14ヶ所(校区)から峰塚公園1ヶ所に集約して実施することに改めた。						
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容				
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		252	137	83
人件費【2】 (千円)		1,500	1,500	1,500
職員数	正規職員	0.17 人	0.17 人	0.17 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.04 人	0.04 人	0.04 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,752	1,637	1,583
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,752	1,637	1,583
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
プレート記名数 人		198	222	225
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		8,848 円	7,374 円	7,036 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		15 円	14 円	13 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	申請率(%)	式) 申込者÷対象者×100	生後1年以内の新生児を対象にどの程度の申し込みがあるか	目標	50	50	達成率(%)
				実績	20	23	46.2%
	式)			目標			達成率(%)
				実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	減少していく緑を何らかの理由付けをする事で少しでも緑を増やし住みよい街づくりにつなげるために市の関与が必要である。
								○	○		

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	少しでも緑を増やし住みよい街づくりにつながる事業として妥当である。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐		
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒		
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐		
	緊急性が認められる	☐	☒	☐		
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	市内14箇所に設置していたが1箇所に集約して行う事によってより費用や管理作業の軽減が図れる。	
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒		
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐		
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐		
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	総合基本計画において市民とともに緑化推進事業に取り組むこととしている。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐	植樹する樹種や場所については当課で決定しているが、事業の主旨は新生児の健やかな成長を願う市民参加の記念植樹である。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	50%程度の記名申請が得られるように事業の改善が必要	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	目標の半分程度の申込となっている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 管理費の軽減努力や制度の周知、申込への誘導など事業の改善、充実を図る。又、緑化推進本来の目的である緑(樹木)を増やす方法を検討する。	